

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

- 1 高い倫理観と豊かな人間性をもちます。
- 2 子どもに対する教育的愛情と教育に対する使命感をもちます。

不祥事根絶のための行動計画

府中市立南小学校
作成責任者 校長 渡部 光昭

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○「人間は誰でも過ちを犯し得る」という立場から、全教職員がその自覚をもち、自らの弱さを克服し続けるための研修内容の充実	○服務研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施して当事者意識を高める研修を行う。	○担当者が服務研修の方法や内容を工夫したようになるよう改善していく。 ○教職員の行動規範(心構え)を職員室に掲示し、確認する。 ○服務研修終了後、担当者が研修内容をワンプーパーにまとめ配布・報告する。	○学期に1回、服務に関するチェックシートに取り組み、振り返りを行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○報告・連絡・相談体制、指摘もし合える人間関係づくりをさらに進めることが課題である。	○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、できない理由をあげるよりどのようにしたら出来るかという視点で意見を出しあう。 ○まず、ひとの気持ちを聴く姿勢をもつ。	○不祥事防止委員会においてより厳しい目で校内に問題がないかを話し合う。 ○毎月実施している危機管理チェックシートに出てきたヒヤリハットを全員のものとする。 ○ヒヤリハットに気づいたら即時報告することを徹底させる。	○定期的に企画委員会や不祥事防止委員会で情報交換を行い、状況を把握する。
相談体制の充実	○複数の相談体制づくり及び危機管理チェック体制の充実	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」「教育相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 ○複数の相談の機会を設定し、セーフティネットを拡大する。	○学校だよりで保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○学期末懇談会において、児童・保護者から体罰、セクハラについて聴取する。 ○学期に1回の児童、保護者、教職員への体罰セクハラ・いじめ等のアンケート調査を実施	○学期途中や学期末に行う児童、保護者及び本校教職員対象のアンケート調査による状況把握 ○学期末懇談会における保護者からの聴取記録を作成する。